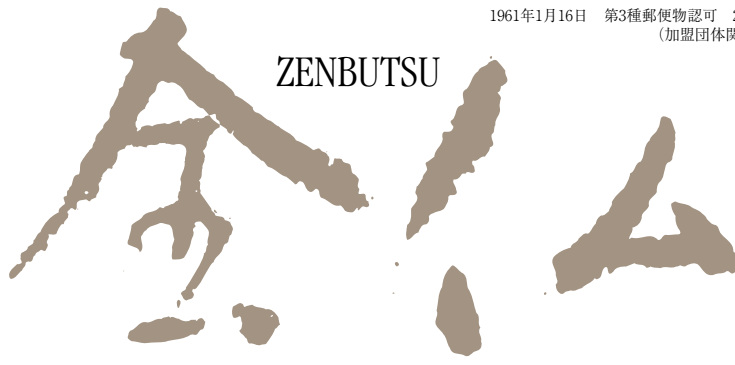


ZENBUTSU



仏暦2546年12月  
[2003年]



## CONTENTS

### 報告——(社)全日本仏教婦人連盟50周年記念大会

真言宗御室派管長晋山式、時宗法主晋山式  
埼玉県佛教徒大会、大阪府佛教徒大会  
中国人俘虜殉難者遺骨送還先徳50周年記念法要厳修  
第23回同和研修会  
国際委員会、宗教教育推進特別委員会開催

事務総局録事



財団法人 全日本仏教会

Japan Buddhist Federation

世界仏教徒連盟(WFB)日本センター  
Japan Regional Center of World Fellowship of Buddhists

## (社)全日本仏教婦人連盟

### 五十周年記念大会開催

十月二十四日午前十一時より、東京三井倶楽部で(社)全日本仏教婦人連盟五十周年記念大会が開催された。本会から、小林正道事務総長、福田亮二社会部次長が出席した。

本会の加盟団体である(社)全日本仏教婦人連盟は、各仏教婦人団体を全国的に網羅した団体であり、各団体との連絡提携及びその強化拡充、仏教による国際親善、青少年の宗教情操教育運動等の目的を達成するため各事業を展開している。

大会では始めに、鷹司誓玉名誉会長(善光寺大本願法主)導師のもと、全日本尼僧法団による記念法要が厳修された。続いて出席者による献花、鷹司名誉会長の御垂示の後、六條照瑞名誉顧問が信条をお唱えし、島田喜久理事長が挨拶した。

来賓の祝辞として、本会の小林事務総長、羽生裕彦全日本仏教青年会理事長が挨拶し、式典は終了した。会食の後、有馬頼底臨濟宗相国寺派管長が記念講演を行った。

当日は、仏教婦人連盟ゆかりの方が多数参加し盛会であった。



鷹司誓玉名誉会長の御垂示

#### 全日本仏教婦人連盟の五大事業

- ①写経運動— インド・ブッタガヤの日本寺境内に建設された「光明施療院」で無料診察する為の運営資金づくりとなる運動で、会員が中心となり多くの在家信者に参加を呼びかけています。
- ②心の募金運動— 「優しい気持ちになったときに募金を」という運動で、子供たちに喜びや優しさ、慈悲の心を教えられればと願っております。また、アフガニスタン支援として、NGO協働センターと共に戦火で焼き尽くされた「ぶどう畑」を再生する「ぶどう基金」も行っています。
- ③タオル運動— 阪神大震災被災者の方々と手を取り合いながらの運動で、地震被災地などの義援金にもなっています。皆様から寄贈されたタオルは「まけないぞう」に生まれ変わり世界の人たちに元気や勇気を届けています。
- ④海外企業企業研修生に日本文化を— 日本の文化(華道・茶道)を海外企業研修生の方々に理解して頂きたいと願い、(社)日本国際青年文化協会と共に年数回開催しております。
- ⑤里親運動— (財)全国青少年教化協議会と共に、インド・カルカッタのストリートチルドレンの里親運動を展開しております。

#### ●問い合わせ

社団法人 全日本仏教婦人連盟

電話〇三(五七七二)〇六七七

### 世界仏教徒連盟(WFB) パロップ事務総長 事務総局を表敬訪問

十月二十三日夕刻、世界仏教徒連盟(WFB)のパロップ事務総長夫妻がタイ国より来日し、本会事務総局を表敬訪問された。

パロップ氏は、WFBの青年部である世界仏教青年連盟(WFBY)の会長(1984~1998)等を歴任され、昨年開催されたWFB世界仏教徒会議マレーシア大会後、事務総長に就任された。

本会小林正道事務総長とはWFBY以来の友人同士でもあり、旧交を温めた。



パロップ事務総長(正面)

### 真言宗御室派佐藤令宜管長晋山式



仁和寺境内を行道する佐藤令宜管長

十月二十九日、真言宗御室派総本山仁和寺で佐藤令宜管長の晋山式が執り行われた。本会から麻生文雄副会長（真言宗醍醐派管長）、福田亮二社会部次長が参列した。

晋山式は、真言宗各山、所縁の諸大徳が多数参列し、真言長者の川田聖定真言宗豊山派管長、堀智範真言宗御室派前管長が祝辞を述べた。会場を移し、祝宴が開催され約三百五十人が出席し盛会であった。

### 時宗法主他阿真円上人晋山式



晋山された他阿真円上人

十月二十四日、時宗総本山遊行寺で遊行七十四代他阿真円上人の晋山式が挙行された。本会から粕川鐵禅

副会長（東京都仏教連合会前会長）と江口智流総務部次長が参列した。

晋山式で真円上人は、「遊行賦算、現代社会の円満平和の実現に向けて少しでも寄与できれば」と述べられた。

また、当日は稚児行列が行われ、参道には大勢の信徒が集まり、真円上人の晋山を祝った。

### 第38回 大阪府佛教徒大会



壇上のパネリスト各師

十一月十一日、ホテル日航大阪で第三十八回大阪府佛教徒大会が開催された。本会から小林正道事務総長、

壽山良光社会部長が出席した。式典では、増田貞圓大阪府佛教会会長の挨拶の後、本会小林事務総長が祝辞を述べた。

続いて、徹底討論「少年犯罪と宗教・教育」と題し、竹内脩氏（大阪府教育長）、大村英昭師（関西学院大学社会学部教授・浄土真宗本願寺派僧侶）、北村日照師（大阪府保護司会連合会副会長・日蓮宗僧侶）の鼎談により、大阪における少年犯罪の実態と、教育現場での対策、並びに社会学的見地からの多角的な考察並びに提言が行われた。その後、懇親会が盛大に行われた。

### 第26回 埼玉県佛教徒大会



大会の挨拶をする酒井文雄会長

十一月四日、埼玉県都幾川村・霊山院で、第二十六回埼玉県佛教徒大会が「命を大切に」をテーマに開催

された。本会から櫻井英幸総務部長、福田亮二社会部次長が出席した。はじめに酒井文雄埼玉県佛教会会長導師のもと記念法要を厳修し、続いて大会開催の挨拶を酒井会長が行った。来賓祝辞として本会の櫻井総務部長が挨拶した。

その後、大本山妙心寺山内霊雲院住職・則竹秀南老師が「今日を大事に生きる」をテーマに記念講演を行った。

晴天の中、寺院関係者及び壇信徒、約二百五十名が参加し盛会であった。



浅草寺本堂前で清水谷孝尚貫首（前列中央）、小野塚幾澄宗懇会長（同右）、宮林昭彦宗懇副会長（同左）、高橋隆天川崎大師平間寺貫首（前列左より4人目）

## 中国人俘虜殉難者遺骨送還先徳 五十周年記念法要厳修

### ●日中友好宗教者懇話会

十月十七日十二時より、東京の浅草寺で日中友好宗教者懇話会の主催により、中国人俘虜殉難者遺骨送還先徳五十周年記念法要が執り行われた。本会より渡邊宗徹国際文化部長が参列した。

国の各宗派に於ける祖山・聖地の復興、再建や、中国からの留学生の受け入れ等を実施し、日中佛教友好交流大会や近年では北京で、第一回中・韓・日友好交流会議が開催された。

記念法要では、清水谷孝尚貫首を大導師に浅草寺一山の式衆が出仕し、日中友好宗教者懇話会関係の方々、約七十名が参列した。中国人俘虜殉難者の慰霊とともに、遺骨送還に尽力された日中の諸先徳、関係者の遺徳を偲び、追善法要が厳かに営まれた。

記念式典では、小野塚幾澄日中友好宗教者懇話会会長、清水谷孝尚貫首が、戦後間もない頃の困難な時期に、遺骨送還の事業に携われた諸大徳の功績を話された後、中国を代表し、中国大使館公使参事官の趙宝智氏、東京華僑総会会長の殷秋雄氏が謝辞を述べられた。式典終了後、「遺骨送還事業と日中仏教交流の歩み」と題し額賀章友同会常任理事の記念講演が行われた。

### ○庭野ピースフォーラム二〇〇三 「紛争状況における宗教者と 宗教集団の役割」

十月十八〜二十日の三日間、有楽町の日本外国人特派員協会会議場で庭野平和財団主催の庭野ピースフォーラム二〇〇三が開催された。本会から渡邊宗徹国際文化部長が出席した。

庭野ピースフォーラムは、テーマを「紛争状況における宗教者と宗教集団の役割」と題し、世界各地で起きている紛争の解決・和解に努力する宗教者・活動家・研究者が集まり、相互の情報交換を通じ連帯を図り、世界平和に向けての活動の充実を目指している。

国内外から約百人が出席し、初日は、スリランカ・サルボダヤ運動創設者アリヤラトネ博士、北アイルランドIN CORE理事マリイ・フィッツドフ教授の基調講演、続いて二日目は、五つの紛争地域（朝鮮半島、スリランカ、パレスチナ、北アイルランド、メキシコ）の代表によるパネルディスカッションが行われた。そして最終日は、全体討議が行われ閉会となった。



### ルンビニー園マヤ堂修復事業 篤志支援者ご芳名

現在、本事業大詰めの作業である『マヤ堂遺跡考古学発掘調査最終報告書』の発刊等に鋭意努力しております。

長期に亘る難事業推進のため、事業資金が千五百万円程不足を来しております。誠に恐縮ですが有縁の皆様方に今後の事業資金のご支援を切にお願い申し上げます。宜しくお願い申し上げます。

合掌

妙定院 小林正道様 金、壹百萬円  
能仁寺 萩野映明様 金、二十萬円  
光明寺 岩田文有様 金、二十萬円  
大真寺 阿部顕瑞様 金、十萬円  
称福寺 小野島元雄様 金、三萬円  
長明寺 木内隆志様 金、五十萬円  
總持寺 小峰立丸様 金、三十萬円  
西澄寺 西岡知圓様 金、十萬円  
威徳寺 深澤照生様 金、五十萬円

（九月十一日〜十一月十二日 受付順）

※篤志の振込先口座番号

（郵便局）〇〇一三〇一六一三七六〇〇

加入者名 財団法人 全日本仏教会  
ルンビニー園復興協力金と明記下さい。

（銀行口座）三井住友銀行浜松町支店

普通預金口座 七七〇三五八

口座名義 財団法人 全日本仏教会  
振込手数料を差し引いてお振込下さい。

※本件に関するお問い合わせ

（財）全日本仏教会事務総局 国際文化部  
電話 〇三三三四三七一九二七五

(財)全日本仏教会 第二十三回 同和研修会

# エンパワメントと人権

## 心の力のみなもとへ

十一月七日天台宗務庁で、本会主催の第二十三回同和研修会が開催された。今研修会は、森田ゆり氏(エンパワメント・センター主宰)を講師に迎え「エンパワメントと人権」心の力のみなもとへ」と題した講演会である。

森田氏は、北米に二十一年間在住し子供・女性への暴力防止に関する専門職の養成に長年関わってきた。その後カリフォルニア大学主任研究員として、人種差別、セクシャル・



講演する森田ゆり氏

ハラズメントなど人権セミナーの指導に携わり、日本でエンパワメント・センターを主宰し、現在、全国で研修活動を行っている。

講演の中で森田氏は、エンパワメントとは、「人間は生まれながらに誰でも個性、感性、生命力、能力、美しさを持っている」という思想から、個人の中に潜在的な能力や可能性、すばらしさを再び生き生きと息吹かせ、拡げていくという意味であると説明された。

例えば、社会から受けた不当なメッセージや苦痛(暴行やいじめ、虐待、差別など)を一つ一つ取り除き、「がんばりなさい」と言葉をかけるだけでなく、個人のあるがままを受け、人々に内在する資質に働きかけることであると述べられた。

そして、体罰(子供に対する虐待、女性に対する暴力)と戦争を例に話を進め、これら二つに共通する感情として、人々の不安と恐怖が大きく係わり、不安とは理性を失わせ周りに

に伝染し、怒りとは、不安・恐怖・悲しみ・絶望・悔しさなど複雑な感情が入りまじることである。そして、体罰を受けた人は、無力感(自信がない)や行動の選択がなにもない(自由がない)状態に陥る。即ちこれは、生きる力をなくすということであり、人は生きるために安心・自信・自由が必要であると示された。

これら様々な外的要因と自己の否定的な内的要因が、自分を小さく閉じこめてしまう。その力を自己の外へと広げていく、自分にしかない内なる力に気づき変えていかなければならないと力説された。

人権が個人のレベル、世界的レベルで尊重されるためには、皆が人権について目を向け選挙の投票などでも自己の権利を主張し、権利を行使していく必要があると強調された。

加盟団体から約百人が参加し、二時間の森田氏の講演を熱心に聞き入っていた。

### 「海外たすけあい」は、日本赤十字社とNHKが共同で実施している国際援助キャンペーンです。

お寄せいただいた義援金は、赤十字の世界的なネットワークを通じて、紛争・災害に対する緊急救援活動や復興支援、並びに災害対策や保健医療などの分野での開発途上国への長期的な支援に使われます。

#### 義援金は次の方法でお受けします。

- ご送金の場合 全国の郵便局、取扱い表示のある各金融機関、農協、漁協(専用の振込用紙をご利用になると便利です)
- ご持参の場合 NHK各放送局、並びに最寄りの日本赤十字社支部、病院、血液センターなどでお取扱いしています。



## 海外たすけあい 義援金募集

12/1(月)~12/25(木)

— ご協力よろしくお願いたします —

●お問い合わせ

最寄りの日本赤十字社都道府県支部

0570-009595

又は、日本赤十字社 海外たすけあいキャンペーン係 TEL.03-3437-7081 <http://www.jrc.or.jp>

### 宗教教育推進特別委員会

十月二十四日午後二時から、本会議室で、第三回宗教教育推進特別委員会が開催された。

最初に前回六月十七日の第二回委員会から当日までの活動経過が報告された。

まず六月十九日(東京)、三十日(京都)に開催された評議員懇談会で加盟団体への説明と協力要請がなされた。また七月二十九日の理事会で杉谷委員長が経過報告を行い、今後の活動推進が確認された件が報告された。

さらに「全仏だより」(加盟団体機関誌への全仏記事掲載依頼)を用いた広報活動の現況、加盟団体等の協力状況等が報告された。

続いて今後の活動方針について協議され、①関係省庁への継続的働きかけを行う。②本会要請書について、いのちの大切さなどを教える宗教教育の重要性をより前面に出し、一般に更に分かり易い文面のもも作成する。

③法律改正を見据え、教材・指導要領などについて仏教界から具体的提言ができるように、委員会内にチームを作り対応する。

以上の点が合意・確認された。

### 国際委員会

十月十日、本会議室で本年度第一回の国際委員会が開催された。新たに委員として委嘱された小笠原隆元・坂本観泰・戸松義晴の三師の出席も得て、熱のこもった討議が行われた。

会議では、世界仏教徒連盟(WFB)について、昨年開催されたWFB世界仏教徒会議マレーシア大会の報告の後、一九七八年の第十二回大会以来開催されていないWFB世界仏教徒会議日本大会開催の可能性についても協議された。

近い将来の開催実現のため、様々な形態での開催方法や、主催者として大会を開催するために重要となる英語を伝える僧侶の養成・研修のための組織の立ち上げについても委員より提言があった。

また、バングラデシユの仏教徒迫害問題、以前より課題となっていた英文による日本仏教紹介本作成についても協議が行われ、委員会として前向きに取り組むこととなった。

### 青松寺 仏教ルネッサンス塾

十月十七・十八日の両日、東京・青松寺(曹洞宗)で、青松寺仏教ルネッサンス塾「ポーズ・ビー・アンビシャス」が開催された。本会から渡邊宗徹国際文化部長、入西智彦国際文化部次長が出席した。

この仏教ルネッサンス塾は、喜美候部宗一青松寺住職が発起人となり、様々な宗派からNGO/NPO活動に興味を持つ若手僧侶が参加している。

初日は、高橋卓志師(臨済宗妙心寺派神宮寺住職)、秋田光彦師(浄土宗應典院主幹)の両講師が問題提起として、それぞれの活動について紹介された。

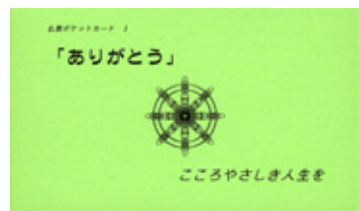
高橋師は、尋常浅間学校・タイのHIV/エイズ感染者の自立支援を行うアクセス21等、神宮寺における諸活動について、また、秋田師は、應典院の成り立ち、NPO應典院寺町倶楽部、生前個人墓、エンディングサポート等についてプレゼンテーションを行った。参加者約三十名は、会場の青松寺に宿泊し熱心に議論を行っていた。

#### ●お問い合わせは

青松寺

東京都港区愛宕二一四一七  
電話〇三(三四三二)三〇八七

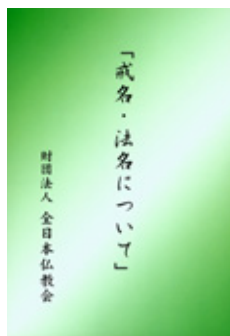
### ●仏教ポケットカード



100枚 1,000円

ポケットの中に入る、小さなやさしい法話カードです。各種の集まりや、玄関や受付にて配付頂ければ幸いです。

### ○戒名法名リーフレット



1部 100円

#### お申込み

必ずFAXかハガキでお申込み下さい。希望部数、住所、郵便番号、連絡先、一般もしくは寺院の別もお書きの上お申込み下さい。お支払いは、同封の振込用紙でお振込願います。

(送料・梱包料は別途請求)

#### お問い合わせ

〒一〇五-〇〇〇一

東京都港区芝公園四一七-四

明照会館内

全日本仏教会

TEL 〇三(三四三七)九二七五

FAX 〇三(三四三七)三二六〇



# 事務総局録事

十月(十一～三十日)

- 十四日▼日宗連理事会・幹事会出席
- 十六日▼事務総局局内会議
- ▼南禅寺東京国立博物館特別展記者発表会出席
- 十七日▼中国人俘虜殉難者遺骨送還先徳五十周年法要参列
- ▼親鸞思想の解明シンポジウム出席
- 十七日▼青松寺仏教ルネッサンス塾出席
- 二十日▼庭野平和財団ピースフォーラム二〇〇三出席
- 二十二日▼ローマ教皇在位二十五周年記念式典出席
- ▼法律相談室
- 二十三日▼世界仏教徒連盟(WFB)事務総長パロップ氏来訪
- 二十三日・二十四日▼浄土宗同和研修会出席
- 二十四日▼全日本仏教婦人連盟五十周年記念大会出席
- ▼時宗法王晋山式参列
- ▼宗教教育推進特別委員会
- ▼事務総局局内会議
- 二十七日▼真言宗御室派管長晋山式参

列  
▼妙智会理事長来訪

十一月(一～十一日)

- 三十・三十一日▼公益法人会計研修会出席
- 三十一日▼浄土宗西山禅林寺派永観堂寺宝展内見会出席
- 四日▼埼玉県佛教徒大会出席
- 五日▼常務理事会
- 七日▼同和研修会
- 八日▼京都府仏教連合会・仏教講演会出席
- 十日▼新宗連平和シンポジウム準備会出席
- ▼国際仏教興隆協会三十五周年・印度山日本寺三十周年祝賀会出席
- 十一日▼大阪府佛教徒大会出席

## 人事

就任

- 評議員 中西智海(浄土真宗本願寺派)
- 事務委員 久保智尚(天台宗)
- 国際委員 小笠原隆元(学識経験者)
- 坂本観泰(学識経験者)
- 戸松義晴(学識経験者)

退任

- 評議員 山内教嶺(浄土真宗本願寺派)
- 税務委員 大谷正道(天台宗)

## 無料法律相談室

長谷川正浩本会顧問弁護士による、無料法律相談を毎月第二、第四木曜日の午後開催しております。本会事務総局03(3437)9275へ事前予約の上おいで下さい。

本会機関誌「全仏」四九三号  
記事訂正のお詫び

本誌前号(四九三号)六頁、宗  
教法人審議会の記事中で、石上智  
康常務理事のお名前を誤って記載  
致しました。  
謹んで訂正させて頂くとともに、  
衷心よりお詫び申し上げます。

正 誤  
石上智光常務理事  
石上智康常務理事

## 日本の仏教に多大な影響をもたらしたバーミヤン遺跡

「大唐西域記」に記されている、  
仏教の地アフガニスタン・バーミヤン。  
世界遺産に登録されたにもかかわらず  
破壊される前の姿はほとんど  
知られていません。  
東西の大仏、壁画の数々、渓谷の風景。  
在りし日のバーミヤン遺跡の姿が  
ビデオになりました。

「全仏」  
ご購入者様  
特典価格  
ビデオ  
アフガニスタン  
「バーミヤン遺跡」  
2巻セット ¥10,200 (税別)  
+送料 ¥800 (全国一律)

- 第1巻(20分)  
「バーミヤン遺跡 私たちが失くしたものは…」  
第1巻はバーミヤン遺跡を通じ文化の大切  
さや重要性をテーマに構成されています。
- 第2巻(15分)  
「アフガンブルー1978 バーミヤン渓谷の一日」  
第2巻では永遠の青をテーマに1978年の  
バーミヤン渓谷の一日を描きます。

2巻セット定価 ¥12,000 (税別)

製作 ㈱デジタルSKIPステーション、㈱スムース

お申し込み方法

VHS/カラー/ワイドサイズ/HIFIステレオ/日本語版(英語版もございます)

FAXの場合はお名前、ご住所、お電話番号、お申し込み数、お支払い方法を明記の上お申し込み願います。  
インターネットの場合は以下のアドレスよりお申し込みいただけます。  
お支払い方法は代金引換或いは郵便振替、銀行振込(先払い)のいずれかとなります。

●お申し込みはFAXまたはインターネットで●

㈱スムース宛

FAX. 03-3222-0692

http://www.smuce.com/bamiyan/

お申し込みの際は「全仏見て」とご記入ください。

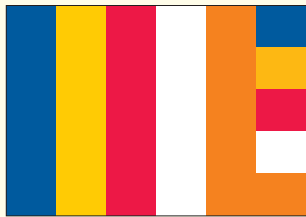
ご記入のない場合は、ご購入特典対象となりませんので忘れずにご明記願います。

◆バーミヤン遺跡に関する写真展、映像上映会、講演会などの際はお問い合わせください◆

■お問い合わせ ■ 株式会社スムース 〒102-0082 東京都千代田区一番町9-5 TEL. 03-3222-0691

# 仏教伝道の旗印として仏旗を掲げましょう

## 全日本仏教会選定仏旗頒布のご案内



仏旗は、仏教徒がお釈迦さま（仏陀）の教えを守り、仏の道を行んでいく時の大いなる旗印となるものです。本会では、先般より「全仏」誌及びパンフレットを通じ、第二回全日本仏教徒会議永平寺大会（一九五四年）で承認された国際仏旗（青・黄・赤、白樺）の普及に努めてまいりましたが、依然として緑、黄、赤、白、紫の五色を用いた旗が仏旗として使用されていることが多く見受けられます。つきましては、この度、全日本仏教会選定の、ポール掲揚用の三種類の大きさの仏旗と、卓上仏旗を作製し、さらなる普及に努めていくこととなりました。

仏旗をお寺の門前は勿論のこと、会議・集会の折り、仏教伝道の旗印として掲揚して頂ければ幸いです。また、卓上の仏旗は、仏壇や玄関、応接室などでご活用下さい。

お申込み・お問い合わせ

全日本仏教会事務総局

〒一〇五—〇〇一一

東京都港区芝公園四—七—四

明照会館二階

電話 〇三—三四三七—九二七五

FAX 〇三—三四三七—三二六〇

### 仏旗バッチ 全仏輪袈裟



- 仏旗バッチ 500円  
(縦2.5cm 横4.8cm プラスチック)
- 全仏輪袈裟 1,500円

### 全日本仏教会選定仏旗



- 大 5,000円(縦140cm 横210cm テトロン)
- 中 3,000円(縦90cm 横135cm テトロン)
- 小 2,000円(縦70cm 横100cm テトロン)

### 全日本仏教会選定卓上仏旗



- 2,500円  
(高さ30cm テトロン 台座付き)

## 本会新リーフレットが完成

### ●本会の諸事業へのご理解を

日本の仏教界が一丸となり仏教文化の宣揚と平和に向けた諸事業を推進していくための連合体である本会の歴史・活動・機構を広く皆様にご理解頂ければと願っております。会議・集会等で広くご配付頂ければ幸いです。

尚、本会事務総局総務部までご連絡頂ければ、ご送付いたします。

#### —お申込み—

全日本仏教会事務総局総務部  
〒105-0011  
東京都港区芝公園4-7-4 明照会館2F  
TEL 03-3437-9275  
FAX 03-3437-3260



## 袋中上人来琉400年記念

### ●エイサー・フジウォーク参加者募集

世界遺産、首里城公園をスタートして、400年前の琉球文化にふれながら歩く松山公園までの6キロのコース。参加者一人一人の歩いた距離が、平和活動支援団体へ寄付されるチャリティウォークです。

開催日：2004年2月7日(土) 9時より  
会場：沖縄・首里城公園集合  
申し込み：2004年1月15日まで  
参加費：大人1200円、高・中学生700円  
小学生500円

#### 問い合わせ・申し込み

浄土宗社会国際局内  
担当 吉田宏昭 橋下俊祐 大谷秀穂  
「袋中上人来琉400年記念事業実行委員会」  
TEL 03-3436-3351 FAX 03-3434-0744  
E-mail: syakai@jodo.or.jp

